

## 「第三者評価に参加して～事業者からのコメント～」

### 木屋瀬保育園

昭和19年1月1日より施行した当園の園則に「本園は、平和、博愛、感謝の生活化を本体とし、一般並びに勤労従事者の乳児並びに幼児を受託し其の勤労を容易ならしむると共に受託者には、規律、共同、自信等善良なる観念と能力を培養し、心身の明朗健全なる発達に努め、家庭に於ける育児並びに教育を補ふを以て目標とする」として、保育目標をかかげ、事業計画をたて保育に取り組み70年余りが経ちました。

時代、社会、保護者のニーズをふまえ、法人の理念、保育理念、基本方針に基づき、子どもが安全で、安心な環境の下、健康で情緒の安定した生活が送れるような保育に努めてきました。

この度 第三者評価事業に参加させて頂き、これまでの保育を見直す良い機会となり、全職員 専門職として資質の向上に意欲をもち 改善への取り組み、保育内容の充実を図っていく事の大切さを再確認することが出来ました。

今後の課題については、保育の質の現状の評価分析、職員からの意見聴取、保護者からの意見や提案をもとに、よりよい保育サービスの向上に取り組んでいきたいと思えます。

- \* 0歳児の年間指導計画は、他の年齢の指導計画に沿ったものを作成します。
- \* 給食用サンプルケースの展示は、保護者の見やすい場所への移動を検討します。
- \* 各保育室は、子どもが自発的に遊ぶことが出来る環境を整えて行きます。
- \* 守秘義務についての職場内研修を強化します。
- \* 子どもの記録に関する管理規程を策定します。
- \* 安全確保のため警察と連携します。
- \* 食中毒マニュアルの整備と職員への周知に取り組みます。

戦後間もなく まだ社会全体が混乱している中 子どもたちの為当園の先輩保育士たちが 行事や季節を主軸にしながら自然や社会のなかで展開される人々の日常生活と結び付けて、子ども達に発見する喜びや文化との出会いの楽しさを経験させたいという保育者たちの願いを大切に、地域に根差した保育園を目指して行きたいと思えます。最後になりましたが、この事業と調査委員、評価委員の方々に対しご指導いただきまして厚くお礼申し上げます。